

344

199



072260-000-4

344-199

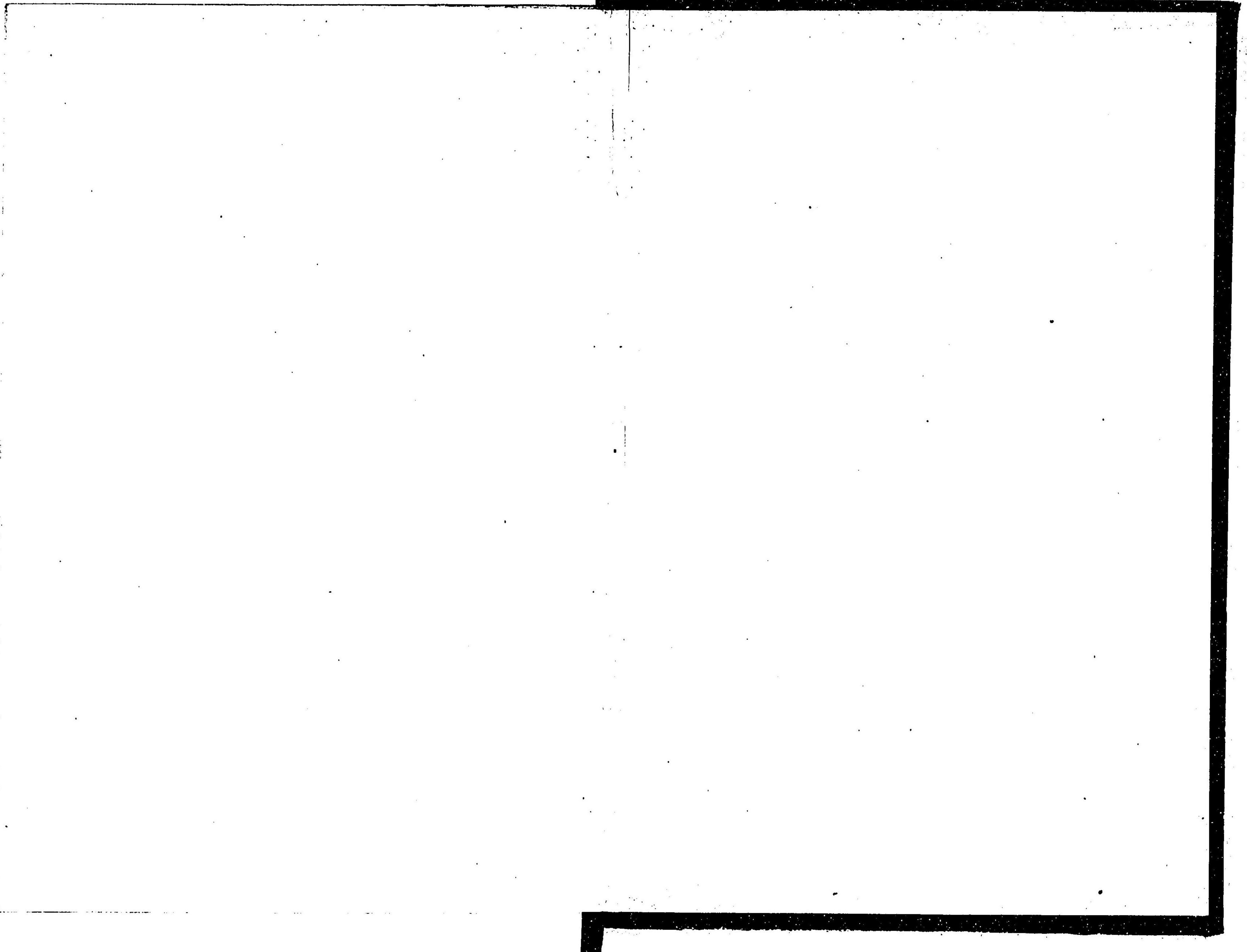
八雲塗ノ改良方針

三山 喜三郎／述

M 4 5

C E F - 0 1 6 7





344

199

農務省工業試驗所技師三山工學博士講演

八雲塗、改良方針

島根縣內務部

今般本縣八雲塗漆器業調查ノ爲メ來縣セラレタル農
商務省工業試驗所技師三山工學博士ノ實地調査ノ上
其改良方針ニ就テ講演セラレタルモノニシテ斯業ノ
經營上裨益スル所妙カラサルニ付茲ニ其要領ヲ印刷
ニ付シ以テ参考ニ資ス

明治四十五年三月

島根縣內務部



八雲塗ノ改良方針

明治四十五年三月五日松江市ニ於テ講演

正
3.29
内交

私ハ今回當地ニ參ツテ八雲塗漆器ヲ視察スルノ機會ヲ得マシタノデ聊カ本漆器ニ對スル所感ト之レガ
將來ノ改良方針上ニ付テオ話シ致シタイト思ヒマス、併シ私ハ主ニ產業トシテノ八雲塗ヲ論ジテウ
スルノア結局如何ニセバ八雲塗ノ產額ヲ増加シ得ルヤト云フ事ヲ判定シタイノデスカラ其積リヲ聞
取ナ願ヒマス、一休新興ノ工業ハ何レノ地ニ於テモ初期ハ殊更困難ノ多イモノデ精巧ノ城ニ達スルニ
ヘ實ニ長年月ヲ要スルノガ常デスカラ新ニ一廉ノ物産ヲ起サントスルニハ初メヨリ精巧品ナ以テ立タ
ウトスルノハ甚困難デアリマス、夫レデスカラ高價ナル精巧品ヲ少數ニ作ランヨリ寧ロ簡単ニシテ需
要多キ普通品ヲ多數ニ製出シテ先ツ産業ノ根底ヲ固クスルノガ得策デアリ又必要デアリマスル、
當地ノ漆器ハ今正ニ發達ノ中途ニアルモノデ其特色タル漆繪ハ目先ガ變ツテ居ルノデ商品トシテ前途
ニ多大ノ望ミガアリマス、
即チ將來當業者ノ奮發如何ニヨツテハ當地ノ重要ナル一物産トモナルコトト信ジマス、併シナガラ今
日ノ處アハ販路ノ狀態ヨリ見テ猶草創ノ時代ト云ハナケレバナリマセンカラ之ヲ興シテ立派ナ產業ト
スルノニハ諸君ノ努力ニ待タナケレバナリマセン、現今漆器ヲ應用シテ居ル所ハ東京、長野、香川、
靜岡、新潟、山形等デアリマシテ、近年ハ各地トモ可ナリ立派ナモノヲ製出スル様ニナリマシタカラ、

當地ノ獨占デアルヤウニ間違ヘテ油斷ヲシテハナリマセん、前ニ申上ダタ内デ靜岡産ノモノハ艶出シガ巧ミデ且ツ廉價デアリマスガ構造殊ニ下地ノ薄弱デアルノガ大ナル欠点ニアリマス、
東京其他ノモノハ念入りデハアルガ高價デアリ産出高モ至ツテ少ナイカラ今日ノ所當地ノ敵ニハナリマスマイ、併シナガラ色漆ノ應用ハ漆工ノ一般ニ希望スル所デ各地トモ熱心ニ研究シテ居リマスカラ油斷ヲスルト忽々競争ニ敗テ取ルノ成ガアリマス、當地ノ物ハ下地ガ堅牢デ割合ニ安イカラ一ト廉ノ物産トモナリ隨分發達ノ見込ミガアル様ニ考ヘラレマスガ然シ現今ノマ、デハ商品トシテ稍々高價ニ過グル嫌ガアリ裝飾品トシテハ未ダ技術ノ足ラザル所ガアル、即チドチラ付カズデ兩者ノ中間ニ迷ツテ居ルノデ孰レノ方ニモ改良ノ餘地ガアルト認メラレマス、前ニモ申シマシタ通り裝飾用ノ漆器ハ技術ノ精巧ヲ要スルコトガ多イノア産業トシテノ發達ハ容易ナラタコトデアリマスカラ產額ノ増加ヲ期スルニハ何ヨリモ先ヅ商品トシテ他縣産ノモノヲ壓倒スル様ニスルノガ八雲漆今日ノ急務デアリマセウ前述ノ目的ヲ達スルニハ第一ニ素地ノ改良ガ必要デアリマス、又他縣ヨリ標本ヲ蒐集シテ其形式ヤ構造ヲ學バセルカ或ハ職工ヲ派シテ他縣ノ操業法ヲ視察サセルノモ改良ノ捷徑デアリマス、今日ハ雲塗ノ素地ハ先進ノ地方ニ比ベルト著シク遅レテ居リマスカラ將來形式ヤ構造ヲ改良シテ是非トモ今日ヨリ廉價ニ仕上ケナケレバナリマセン、此操業法ニ就テハ和歌山縣(黒江)ノ素地製造法ニ於テ摸範トスペキ点

ガ甚多カラウト考ヘマス同地デハ一枚ノ膳素地デモ鏡、椽、足等一部分毎ニ夫々分業デ作リ又之ヲ染メテ組立テル者モ別人デアツテ一枚ノ膳素地ガ六七人ノ手キ經テ初メテ出來上ルノデス斯様ニ手分けチシマスノデ自然ニ澤山ノ仕事が出來從ウテ價格モ安クナルノデアリマス然シ斯カル分業ハ本業ガ著シク發達セザル内ハ摸倣スル譯ニ行カナイカラ組織ノ改良ハ他日ノコトトシテ今日ハ競争ニヨリテ技術ノ進歩ヲ圖リ多數ヲ作リテ素地ノ價ヲ安クスル様ニスレバ充分デス元來素地價額ノ高低ハ著シク漆器業ノ盛衰ニ關係スルモノデアリマシテ現ニ和歌山、奈良ノ兩縣ヲ製出セラル、廉價ノ春慶塗漆器ノ如キハ素地一個ニ付キ僅カニ五厘ノ差ガノルタメニ一方が困難ノ地位ニ立ツテ居ル有様デアル斯様ナ實例モアルコトデスカラ生産費ノ輕減ハ產業ノ改良上大ニ注意ヲ拂ハネバナラヌノデアリマス、當地ノ漆器ニ於テ素地ガ惡クテ高コトハ私ガ最モ遺憾ト感ズル所デス、申ス迄モナク漆器デハ素地ガ骨子デアリ最モ大切ナモノデアリマスカラ素地ガ高ケレバ他縣産ノモノニ壓迫サレルシ又粗惡デアレバ如何程堅牢ナ下地ヤ塗方ヲ用ヒテモ無益デスカラ斷然ト素地ノ製法ヲ改良シ多數ニ作ツテ廉價ニ仕上ケルノガ最必要ナコトデアリマス、

第二ニ研究ヲ要スルノハ下地デスガ是レハ當地ノ製品ニハ不足キ云フベキ魚ガアリマセん、否ナ私ヘ寧ロ下地ガ丁寧大方デアルト考ヘテ居ル位デスカラ將來長ク今日ノ下地ヲ嚴守シドコマデモ堅牢ノ下地ヲ以テ競争場裡ニ勝テ制セラルルコトヲ希望致シマス、一休何レノ地デモ漆器業が盛ニナレバ下地

ニ手ヲ抜ク様ニナル傾ガアルノデスカラ今日ヨリ此点ニ注意シ互ニ相戒メテ健全ナル發達ヲ期セラル
ルヤウニ致シタイノデス、

第三ハ塗漆デアリマスガ是レニハ漆ノ精撰が最モ大切デアル、即チ漆ノ善良ナルモノヲ使用シテ堅牢
チ期スルノガ當地漆器ノ改良上甚ダ必要デアル、簡短ニ漆ノ品質ヲ試験スルニハ硝子板ニ漆ナ塗リ乾
イタ膜ヲ剝キ取リマシテ半時間位沸煮ヲ行ヒ、ソレカラ日光デ乾カシテ見ルノデス、良好ノ漆ハ其際
光澤ガ依然トシテ居リマガ支那漆ノ様ナ「ゴム」質ノ澤山這入ツテ居ルモノハ「ゴム」ガ溶ケ出スニ
ヨリ不透明トナリ全然光澤ヲ失ヒマス、又樹脂類ヲ含有スルモノハ硝子ニ塗ツテ乾カシタ後ニ爪ヲ搔
ケバ脆ク剝ゲ落チルノデ分リマス

第四ニ漆繪ニアリマスガ之レハ漆繪ノ付ケ方繪具ノ調べ方及ビ圖案法ノ三ツニ分ケテオ話シ致シマセ
ウ、一番ニ漆繪ノ付ケ方ハ上等物ト下等物トニヨツテ方法ヲ區別スルコトガ必要デアル、上等物即チ裝
飾ヲ目向トスル工藝品ハ十分ニ手數ヲカケテ精巧ナモノヲ作ラズバナリマセンガ然シ普通ノ商品ニハ
高價ト云フコトガ何ヨリ禁物デアリマスカラ漆繪ノ如キモ簡単ニシテ趣ヲ失ハザルヤウニ心懸ケ其描
キ方ノ如キハ最モ手數ノカ、ラヌ方法ヲ求メナケレバナリマセン、手數省略ノ一例トシテハ一々筆ヲ描
ク代リニ簡短ナ印刷法ヲ應用スルノガ最モ得策デアルト思ヒマス、併シ夫レニシテモ澤山ノ圖案ヲ用意
スルノヲ避ケテ成ルベクハ五種カ六種ノ簡単デ要領ヲ得タモノデ濟マセルガヨイノデス、此法ニヨレハ

少額ノ費用デ何枚モ描クコトが出來マセウ、此印刷ヲ行フニ輕便ナル方法ハ漉引ノ美濃紙ニ適宜ノ圖案
例ヘパ菊花模様ノ如キヲ描イテ之ヲ切り拔キ此型紙ヲ用ヒテ上等品ナレバ中塗ノ上ニ下等品ナレバ下
地ノ上ニ糊ヲ摸様ヲ置キ乾燥後一面ニ漆ヲ塗リカブセ乾イタ處デ直ニ湯デ濕メスカ或ハ其前ニ砥石デ
少シ上ヲ拂ツテカラ湯デ糊ヲ落スノデアル、ソウスレバ糊デ印刷サレタ摸様ハ奇麗ニ洗ヒ去ラレテ凹
所ヲ生ズルカラ其凹所ニ刷毛ヲ色漆ヲ埋メルノデアリマス。此ノ方法デハ繪ノ輪廊ガ一層鮮明ニ出來
上ルノミナラズ一枚ノ型紙デ何枚モ繪付ケが出來マスカラ安價デ且ツ見榮エノヨイモノトナルノデア
ル此印刷糊ノ代リニ色漆ヲ使フコトモ出來ルガコレデハ結果ガ面白クアリマセン猶一ツ裝飾品ノ漆繪
ニハ少量ノ金粉ヲ應用スルコトヲ勧メシタイト思ヒマス、ソウスル、漆繪ガ一段ト立派ニ見エ一見
シテ價值アルコトガ分カリマス、筆ヲ描イタノミデハ繪ノ輪廓ガポンヤリシテ居ルカラ引キ立タナイ
ガ此輪廓ヲ金線ニシテ判明ニスルカ或ハ他ノ要部ニ少量ノ金粉ヲ施シテ研ギ上ケルト見違ヘル程立派
ナモノが出來マス、之レハ華美ナ金蔵繪ノ長所ト高尚ナ色漆ノ長所トナシ兼ネ合セタモノデ頗ル面白イ
方法ト思ヒマス、今日此所ニ陳列シテアル標本ニ金粉ヲ用キタモノガ五六種ホドアリマスカラ後デヨ
ク御覽下サイ、此金粉ヲ入レタモノハ研ギ上ケル時ノ目安トナツテ研グノニ甚ダ都合ガヨイモノデス
金粉ハ一枚ノ益ニ二三十錢位ヲ用フレバ先ヅ十分デアリマス、二番目ハ繪ノ具ノ調ヘ方デアリマスガ
私ハ色漆用トシテ五六年前ニ各種ノ華美ナル「レーキ」顏料ヲ創製シマシタ「レーキ」ハ水ヤ日光ニ

對シテ染料ヨリモ強イノミナラズ從來ノ繪具ヨリハ配色が自由デス、色漆ヲ作ル場合ニ染料ノマヤデ使フノハ甚ダ愚ナコトデアリマシテ之レデハ水ヤ「アルコール」ニ溶ケ出シマスシ、又日光ニ對シテモ甚ダ弱イモノデアリマス「レーキ」顏料ヲ乾漆粉トシテ薄クト又而白イ薄繪が出來上リマス、「レーキ」顏料ハ漆工ガ好奇心ヲ以テ歡迎スルモノデアルが然シ私ハ可成鑽物性ノモノヲ用フルコトヲ諸君ニオ奨メ致シマス、鑽物性ノ顏料デモ近年大分ヨイ色ガ研究サレタ、例ヘハ「ベレンス」ハ從來色ノ濃過ギルノト乾キ方ノ遲イトガ欠点デアリマシタが水デ七八回洗ツテ「アクリ」ヲトレバ十分ニ乾キガヨクナルコトヲ發見シマシタ、又色ノ濃スギハノハ塗蒼（白粉）ノ混合ニヨツテ、之ヲ薄メルトガ自由ニナリマシタ、此外硫化「カドミュム」デ鮮明ナ黃色ノ出ルコトヲモ發見シマシタが之レハ精製が手輕デナク價モ又高イノテ實用ニハ困ルノデス從來出來ナカツタ種々ノ薄色ヲ出スノモ塗蒼ニ鑽物性ノ諸顏料ヲマセレバ自由自在デス、紫色ハ鑽物デハ出スコトガ出來ナイノテ止ムリ得ズ「レーキ」ハ「マセンド」ナ以テ作ルニ限リマス三番目ニ圖案デスガ普通ノ商品ニ漆繪ノ印刷法ヲ應用シタイト云コトハ前ニ述ベマシタ此ノ法ヲ實行スルトナレバ之ニ適當ナ圖案ヲ案出セネバナリマセヌ近頃ノ八雲塗ノ繪ハ花鳥ノ如キ手數ノカカル寫生畫が多イヤウニ見受ケマスがコレハ考へ者デアルト思ヒマス、色々漆繪ヲ作りテ比較シテ見マスノニドウモ寫生物ヨリハ簡単ナ摸様物ノ方ガ割合ニ上品ニ見ヘルノミナラズ寫生畫

デハ見ル人ノ位置デ繪が倒マニ見ヘルコトガツテ甚ダ都合ガ惡イノデス、要スルニ八雲塗テ最モ工費ノ嵩ムノハ漆繪デアルカラ之ヲ印刷法デ片付ケルトスレハ繪ダケデニ三割ノ工費ヲ減ズルノハ易イコトデアリマセウ

第四ニ改良スペキハ素地ノ乾燥法デアル之レハ漆器ノ耐久度ニ大關係ガアルノデスカラ今少シ愈入ニ乾カシテ欲シイノデス、乾燥ガ惡イト大キイモノデハ狂ヒガ來ル又龜裂ガ生ズルコトニナル同レノ土地デモ生産ガ増加シテ來ルト素地ガ間ニ合ハナタナリ從ツテ知ラズ識ラズ乾燥ガ不充分ニナルモノデスカラ豫メ此点ニ留意シテ警戒スルコトが必要デアリマス、一体木ノ乾燥ノ遲イノハ木質中ニ樹脂ヤ汁液ガ存在スルカラデアツテ之等ヲ取リ除ケバ跡ニ殘ツク水分ハ一日位ノ日光晒シテ十分ニ乾燥スルモノデアル、ソコデ此等ノ含有物ヲ取り除カントスルニハ内法五六尺四方高サ七尺位ノ煉瓦室ヲ作り二石入りノ釜デ蒸氣ヲ出シテ三四時間素地板ヲ蒸スノデススウシテ木材中ノ含有物ヲ除去スルコトトスレバ一個人ノ資力デ手輕ク木材ノ乾燥を行ハレマス、先キニ申シク大サノ裝置デハ一日ニ尺幅ノ板二百枚乃至三百枚ヲ蒸スコトガ出來マスガ其建設費ハ三百圓以内デ済ムコトト思ヒマス、當地デハ今日ノ所組合デ一個ノ乾燥室ヲ具ヘタラ充分デセウコレハ威ルベク素地屋ノ手ニ任セス製造家ガ共同デ行フノガヨイト考ヘマス、ナゼナレハ素地屋ニ任セルト自然ニ乾燥ヲ怠ル虞ガアルカラデス、此外仕事ノ手配等ニ付テ注意シタイコトヲ申シマスト色繪ヲ研キ出スノハ軟カナ仕事デアルカラ男子ヨリ

モ却クテ女子ノ方ガヨイド思ヒマス、力テ要スル仕事ハ男子コ限リマズガ女子ニ出來ルコトハ成ルベ
ク之ヲ任ゼル方が工費節減ノ上ニヨロシムノアス、又色繪ヲ研キ出スノニ木炭ヲ用フルノハ手ヲ汚シ
テ不便デアリマスカラ何カ木炭位ノ硬ザノモノヲ搜シ出シテ木炭ニ代用スル方がヨイト思ヒマス、八
雲塗デハ繪ノ研ギ出シガ仕事ノ大部分ヲ占メテ居マスカラ此改良ハ仕事ニ著シキ關係ヲ持ツテ居リ
マス、此事ニ就テハ他地方ノ當業者中ニモ研究スハモノガアリ相當ニ成功シタ者モアルヤウデスカラ
諸君ニ於テモ夫々研究ヲ積マレタナラバ八雲塗製造上頗ル有益ナコトゾアラウト者ヘマス。（終）

明治四十五年四月二十日印刷
明治四十五年四月廿四日發行

島根縣內務部

島根縣松江市殿町十五番地

印 刷 者 布 野 勝 太 郎

印 刷 所 布 野 活 版 所

島根縣松江市殿町十五番地

